

講師としての創意・工夫



有限会社 試験場前自動車学園
札幌クレーン特殊学校
亀田 剛

弊社には、50年揚げてきた
指導要綱があります。

「信頼される教習」

「納得される教習」

「親身になった教習」

指導要綱を信条として、

「生涯安全」を目指し工夫してきました。

実技教習について

安全確認の重要性・意識

視線をテーマに

周辺視野

眼球運動

瞬間視力

視線

狙う



ピント

見える

動体視力

普段「見ること」は、無意識で行っており、
自分が見ようと無意識で思っている所しか見えていません。
安全確認をしても、本当に危険が見えているか、見落としがあるかもしれません。



視界の中は、見えているようで、視線を合わせた所以外は、ぼんやりしか見えていない

実技講習では、チームとなって全員一体の講習を心掛けています。

(1点ではなく、動く方向・行先が見えるよう)

「曲がり始めを見る」 「曲がり終わり」

「行き先を見る」 「遠くを見る」

「狙う」 「全体を見る」 など

受講生全体に聞こえるように声掛けしています

視野全体を見ることができれば、
注意すべき障害物・近寄ってくる
作業員など、より早く感知で
きることを伝えたい。

移動式クレーン運転士免許

学科試験対策講習

4日間

1日目・2日目は テキストを使った講義形式

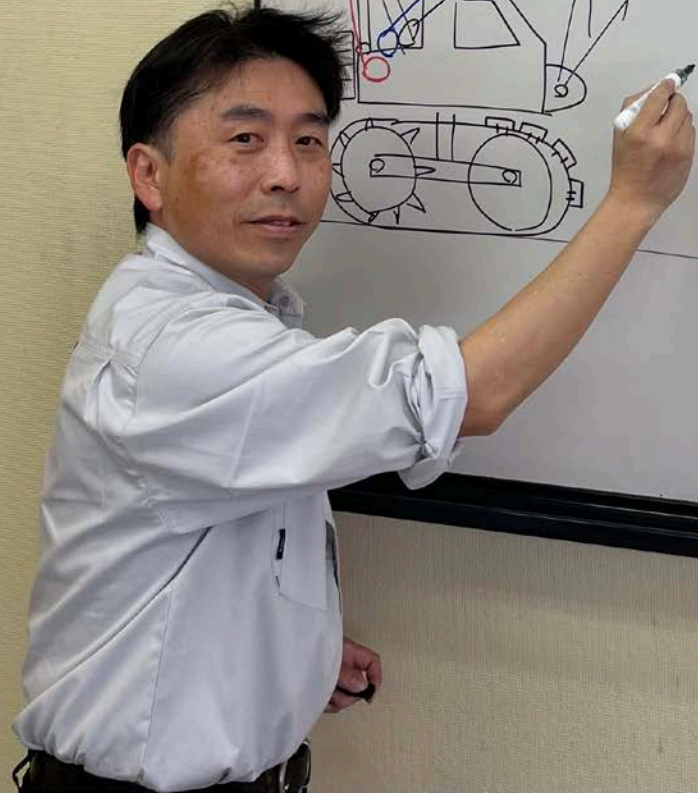
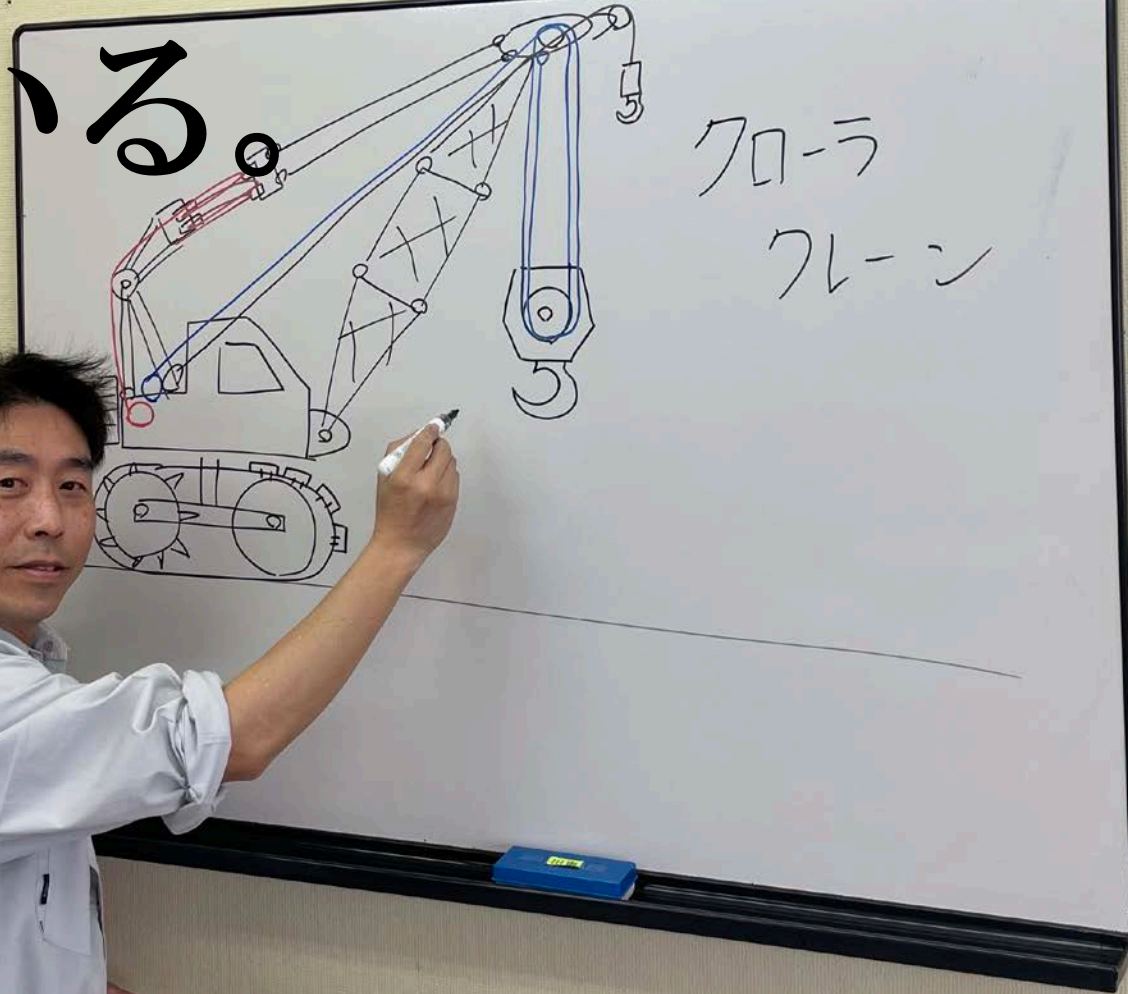
クレーン知識

力学

原動機

法令

ホワイトボードに図を書きながら説明している。



講義の途中で問題を使う。

氏名

【Ver. R3-1】

○× 力学(力・運動) ①

次の文章の内、正しい文章には「○」を、誤った文章には「×」を記入し、
誤った部分には下線を引いてみましょう。

- ①[○] 外から力が作用しない限り、静止している物体は静止の状態を、また、運動している物体は運動の状態を続けようとする性質を慣性という。
- ②[×] 運動している物体の運動の方向を変えるのに要する力は、物体が重いほど小さくなる。
- ③[] 物体が円運動を行っているとき、物体の速さを大きくすると、遠心力は小さくなる。
大きく
- ④[] 速度が10秒間に 10m/s から 35m/s になったときの加速度は 25m/s^2 である。

○× 力学(質量・比重) ②

- ①[] 場所が変わっても変化しない、物体そのものの量を質量という。
- ②[] 同じ材質の立方体では、一辺の長さが3倍になると質量は9倍になる。

3日目・4日目は
模擬問題・過去問題

家庭教師方式で個人に
対応していく

得意・不得意が違う

暗記が！

計算が！

構造が！

〇〇が！

講習のモットーは、

簡単に楽しく！

本人が気が付けない苦手を見抜く！

本人があきらめなくても、あきらめない！

講習終了後も連絡を取る！

合格までかかわる！

今後も日々鍛錬し、安全教育に寄与して参ります。

ご清聴ありがとうございました。